

臓そうの作用きようを鈍なまくし又麻痺またまひを起おこします。僅わずかに二十四時じゅうごうにじゅうし乃至三十時とくじに死しするものが時ときとしてはありま
す。以上いじやうは唯傳染病べいとんせんびん中の二三にさんの重なるものを述べ
まして御注意ごちゆういを引起ひきおこす迄までです。

今昔いまむかしいろは料理りやうり

石井泰次郎

(れ)

料理りやうりたけのこ拵こしらへかた

竹たけの子この本ほんを切きりて、内うちをくりぬき摺魚肉すりぎやうにくとて魚
肉にくを細こまかにきりてたゞきて、播盆すいぼんにてすりたる物もの
をつめ、又は玉子たまごなどを流ながしてこみて、口くちをして、
火ひに入れてやくべし、やけたるのち皮かわをさりとて、
色々いろくに小口切こぐちきりにして用もちふべし、其まゝにても、又
味あじをつけてもよし、内うちのくりたる所ところへ何もつめず

にもなすべし。

(そ)

拵こしらへとうふの拵こしらへかた

能よくしぼりたる豆腐とうふを、馬尾筋うまびしんにてうらむし、
て、播盆すいぼんにてすりて、玉子たまごの白身しろみを豆腐とうふ一丁いちぢやうへ二
つほどませてすりて、板いたの上うへへうすくのべて、尤
板いたの上うへへ美濃紙みのがみを敷しきて其上そのうへへのばすなり、のぼし
たる上うへへ又紙またがみを一いちばいに敷しきて又豆腐またとうふをのぼし三さんだ
んもしてよし。

蒸籠せいろうに入いれてむすべし、さて取出とりだして、水みづの中なかへ板
のまゝ入いれて、はがして切方きりかたすべし。

(つ)

包玉子つみたまごの拵こしらへかた

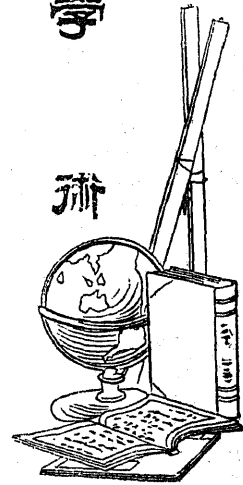
玉子たまごを、小ちひささふかき器うつはの中なかへ美濃紙みのがみののりけ
なさをさまゝの形かたちに押しこみて、其中そのなかへ玉子たまごを

わりこむべし、さて其紙のはしをたばねて、紙捻にて結びて湯を煮えたゝせたる中へ入れてむすべし、其つゝみたる紙のひだの通りに玉子はかたまるなり、それを椀の中實にも、煮ても用ふべし。



學

術



眼の話 (其一)

本郷生

物理學の方面から人間の眼を研究するときには面白いことが數多くあります、理窟は至極簡單で之れを知れば日常目撃する現象を説明せらるゝと云ふ場合も又少くはありません、されば以下順序を立て、少しく之れを述べて見ましょー。

皆様の家にランプがありますか、そして凸れんず(虫目鏡)がありますか、あらば夜の慰みの一つ